

平成29年7月~10月

# かてい

平成29年11月1日発行

学園短信 一歩ずつ、着実に。

今号は、夏から秋にかけて家庭学園で行われた様々な行事の様子をお伝えします。

## 横浜家庭学園雑感

横浜家庭学園に来て半年が過ぎました。半年を振り返り、園の印象や行事の状況を徒然に書かせていただきます。

横浜家庭学園の門を入ると、レンガ造りの本館の奥に楠の大木があります。楠は春に落葉する木で、四月はひらひらと葉が落ちていました。その左に講堂があります。この講堂は大正十四年に建てられたと聞いていますが、変則六角形の建物で不思議と落ち着きます。その他の建物もデザインが面白く気に入っています。

この半年の園内行事で最初の記憶は、四月のお花見会。学園の桜を愛でながらのバーベキューは、グランドにテーブルや椅子を出し、三箇所に分かれて行いました。それぞれ子どもと職員が協力して食材を焼き、子どもたちが取り分けてくれたりしていただきました。その後、全員が得意の芸を披露して宴を終了しましたが、職員の多芸ぶりに笑止千万、破顔一笑、呵呵大笑でした。

五月、子どもたちはほとんど休みなく競技に出場ということで、とてもハードな大運動会。競技内容には定番のパン食い競争をはじめ綱引き、徒競走、障害物競争や砲丸投げ、走り高跳び、走り幅跳びといった陸上競技もあり、一日楽しく過ごしました。昼食は、大きなブルーシートに座り、おにぎりやお重に入ったおかずを皆で食べる古典的な運動会の食事で、満喫、満足、満腹といった状態でした。炊

事場の皆さんありがとうございました。

六月。梅雨入り前の遠足、奥多摩、日の出山ハイキング。子どもたちの中にはハイキングが嫌いな子もおりましたが、小雨の中全員登頂し、頂上にて食事を取りました。若干寒い中、弁当やカップラーメン、温かいココアを飲み鋭気を補充し、お腹満足という状況。また、頂上に着いた年配ハイカーへの心配りも（お茶はいかがですか、お菓子食べませんかなど）あり、女子力アップ。

七月、三浦半島諸磯海岸での海水浴。風の強い日で若干寒い日でしたが、磯遊びをして楽しめました。静かな海岸での海水浴、ユックリ、ノンビリした真夏の一日でした。

八月。向陽学園での児童福祉施設水泳大会や関東水泳大会（千葉県）に向けた練習の集大成としての「50メートル100本祭り」を実施。卒園生や他の施設職員も参加して行いました。子どもたちは全員完泳しました。感動をありがとう！泳ぎ切った子どもの表情は清々しく感じました。

この半年で子どもたちは色々な面で成長してくれています。新しい仲間も増え、お互い協力しながら日々を過ごしています。

横浜家庭学園の子どもたちそして職員にエールをお願いいたします。

横浜家庭学園園長 田辺有二

学園行事紹介ページ(七月～十月)

日頃はあまり外出する機会がない子どもたちですが、夏休みは園内の行事の他に、いくつかの外出行事も行いました。

このページでは写真を交えながら、夏から秋にかけての学園行事の紹介をしたいと思います。

● 七月

学期末試験(七・八日)

「テストやだ〜!」と言いながらも、真面目に一学期の期末試験を受けていた子どもたち。嫌だイヤだと言いつつも自習時間にコツコツ勉強して本番に臨み、結果に一喜一憂しながら家族舎担当の先生に健闘した結果を報告していました。

七夕(八日)

テスト終了後は年に一度の七夕イベント。テストから解放された直後のイベントだったので、いつもよりウキウキしていました。

浴衣姿、みんな似合っていましたよ。短冊に書いたお願い事は叶ったかな…?



一学期終業式(二十日)

25メートル100本祭り(二十一日)

学園恒例の100本祭り(50メートル×100本水泳)の前段階として、25メートル×100本水泳を行いました。六月にプール開きをしてから、ソフトボールと並行して行ってきた水泳の練習。練習を始めたころは嫌がっていましたが、この頃になると子どもたちは「今日は〇〇秒タイムが上がった!」など、前向きな姿勢が見られました。



海水浴(二十五日)



BBQ(二十六日)

BBQでは材料の下ごしらえから始め、ハンバーガーなどのメニューを楽しんで作ることができました。進んでお手伝いをする子どもたちの姿が多く見られました。



高校野球観戦(二十一日)

ピアノおさらい会(二十三日)

珠算検定(二十四日)

八月

図書館企画（二日） 釣り企画（九日）

50メートル100本祭り（十一日）

アロマ講座（十三日） 陶芸教室（十四・二十三）

平和学習（十五日） 買い物訓練（十六日）

フラワーアレンジメント講座（二十日）

関東水泳大会（二十五日）、県水泳大会（二十九日）

水泳大会（県水泳・関東水泳）では練習の成果を發揮できました。



キャンプ（二十八～三十日）

様々な初体験に戸惑いながらも、夏休み最後の思い出を作ることができました。



9月

始業式（一日） ミュージカル鑑賞（二日）

珠算検定（二五日）

野球観戦（二日）

野球観戦では、大きな声を出して精一杯応援していました。また初めて行く大きな球場で感動していました。



学園ギネス大会（18・23日）

ギネス大会では園内で得意分野を探しそれぞれのジャンルでタイムや耐久時間など競って記録を残しました。中にはフラフープを50分間続けるなど、大きな記録を作る子が出ました。また大豆を箸で移動させるなど、スポーツ部門、文化部門を作りました。



「川あそび」

キャンプ恒例、川遊びでの飛び込み。

今年は紐と木の棒を使ったブランコも登場！

好奇心旺盛な子どもたちは、ブランコからの飛び込みに「私もやりたい！」と積極的に挑戦していました。



編集後記

平成二十九年度、第二回目の広報発行となりました。今号は、行事の様子や児童の作文を中心に載せてあります。行事に参加した児童や職員、「生」の声に触れていただけたらと思います。

少しずつ、児童の人数も増え、賑やかさが増してきた横浜家庭学園。今後、まだまだ新しい仲間も加わる予定です。次号では、新しいメンバーを加えた学園の様子や、盛りだくさんな冬の行事の様子をお伝えしたいと考えておりますので、ご期待下さい。

「かてい 第十八号」編集委員会 扇澤・野村・宅島・北口・松浦

★ 横浜家庭学園エンブレム紹介 ★

「ギネス大会」の際に、ある職員が横浜家庭学園のエンブレムを制作してくれました。そのデザインがこれです！



どうですか？ 格好良いでしょうか？

平成29年度在籍状況（平成29年11月1日現在）

	横浜市	神奈川県	川崎市	横須賀市	相模原市	他県	合計
29年度定員	8	8	2	1	2	0	21
29年11月1日現在	4	4	1	0	2	1	12

社会福祉法人 幼年保護会 横浜家庭学園

神奈川県横浜市保土ヶ谷区釜台町18番1号

電話：045-331-5884

FAX：045-331-5013

ホームページアドレス：<https://www.yokohamakateigakuen.org/>